

平成29年5月17日
独立行政法人 家畜改良センター岩手牧場

牧草(1番草)の収穫が始まります

独立行政法人家畜改良センター岩手牧場(場長 分部喜久男)では、5月17日午後より牧草(1番草)の刈取を行い、今年度の収穫作業を開始する予定です。

岩手牧場は農林水産省所管の独立行政法人として、乳用牛の育種改良事業を行っており、飼養する約750頭(4月末)の乳用牛に給与する粗飼料を確保するため、場内約420haのほ場で牧草や飼料用トウモロコシを栽培し、乾草やサイレージに調製することで、年間約8,000tの飼料を生産・利用しています。

牧草は毎年この時期に収穫を始めますが、春の晴天の中、雄大な岩手山を背景に牧草の収穫を行う風景は、酪農主産県である岩手県を代表する春の風景です。

1番草の最初の収穫作業を「鎌入れ」と呼び、「鎌入れ」を行う日は、今後1年の作業の安全と豊作を祈念する特別の日でもあります。

※ 天気により収穫開始は前後する場合があります。また、取材を希望される方は、家畜防疫の関係上、留意事項等を説明する必要がありますので、事前に下記担当者へ連絡下さいますようお願いいたします。



「日本の食卓 改良と技術で守ります」
～小さなタネから大きなウシまで～

問い合わせ先 〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字穴口72-21
独立行政法人 家畜改良センター岩手牧場

担当者：^{とざわ}戸澤、^{おぐら}小倉

電話：019-641-2130

FAX：019-641-4725

ホームページ：<http://www.nlbc.go.jp/iwate/index.html>